

令和5年度第2回全国科学博物館協議会理事会・総会
及び第31回研究発表大会 開催要項

- 趣 旨 科学系博物館に共通する課題や各館の活動成果について発表及び協議し、学芸員等博物館専門職員の活動の一層の充実に資する。
- 期 日 令和6年2月21日(水)・22日(木)
- 主 催 全国科学博物館協議会、滋賀県立琵琶湖博物館、一般財団法人全国科学博物館振興財団
- 会 場 滋賀県立琵琶湖博物館（滋賀県草津市下物町1091）及びオンライン
※会員限定で総会及び研究発表大会のライブ配信をする予定。
- テーマ 「コミュニティとともに活動する博物館」

6. 日 程

2月21日(水).....令和5年度第2回理事会・総会

(9:30～14:00 理事会・総会現地受付)

9:30～ 開 館 見学自由 ※受付にて配付の名札を総合案内所でご提示ください。

11:30～13:00 理 事 会 【滋賀県立琵琶湖博物館1階会議室】

(13:00～ 総会のオンライン参加入室開始)

13:30～ 総 会 【滋賀県立琵琶湖博物館1階ホール】

13:30～13:40 理事長・開催館挨拶

13:40～14:20 議事

14:20～14:30 《 休 憩 》

14:30～14:50 博物館振興施策等概要説明

文化庁 企画調整課 文化戦略官／博物館振興室長 高井 絢氏

14:50～15:10 海外科学系博物館視察報告

船の科学館 学芸部 学芸課 学芸係長 和木 美玲氏

15:10～15:20 ICOM-NATHIST コスタリカ年次総会 参加報告

国立科学博物館 地学研究部 研究主幹 矢部 淳氏

15:20～15:25 生物多様性情報標準化会議・国際自然史標本保存学会 沖縄大会について

大阪市立自然史博物館 学芸課長 佐久間 大輔氏

15:25～16:15 講演「出あい、学びあう博物館をめざして」

滋賀県立琵琶湖博物館 館長 高橋 啓一氏

16:15 閉会

16:30～17:45 情報交換会 ※入退室自由。バスの時刻にご注意ください。

情報交換会終了後のバス出発時刻は18:00です。

【滋賀県立琵琶湖博物館1階セミナー室】

2月22日(木).....第31回研究発表大会

(9:00～9:40 現地参加受付、オンライン参加は受付開始時間より随時入室可)

9:40～9:45 開会挨拶 【滋賀県立琵琶湖博物館1階ホール】

9:45～12:07 事例発表（詳細は別紙） ※休憩適宜

12:07～12:25 ポスター発表者によるインデックス・プレゼンテーション

12:25～13:40 《 昼食・休憩 》

13:40～14:40 ポスターセッションコアタイム ※現地のみ

【滋賀県立琵琶湖博物館 1階セミナー室】

14:40～14:45 《 休憩 》

14:45～16:56 事例発表、全体総括 ※休憩適宜

【滋賀県立琵琶湖博物館 1階ホール】

※現地参加者で受付時間に間に合わない場合、休憩時間や閉会後に受付を行います。事務局にお声がけください。

※今後の社会情勢によっては、理事会・総会・研究発表大会はオンライン等による開催に、情報交換会は中止に変更する可能性があります。また、令和4年度に引き続き、今回も試行として、希望があれば加盟館外の博物館関係者の総会（議事以外）、情報交換会、研究発表大会への参加を可としています（参加費徴収）。

第31回研究発表大会

大会テーマ:コミュニティとともに活動する博物館

口頭発表詳細

日 時 : 令和6年2月22日(木) 9:40~16:56

【会場】(滋賀県立琵琶湖博物館 1階ホール)

【開 会】

9:00 ~ 《 受付開始 》
9:40 ~ 9:45 《 開会挨拶 》

【第1ブロック：市民のニーズをとらえた教育普及活動】

9:45 ~ 研究発表① 総合知を目指すサイエンスコミュニケーション活動に関する共同研究
～全国の科学系博物館における学習支援活動の実態調査～
国立科学博物館 諏訪部 優子・小川 義和・有田 寛之・内海 幸弘
トータルメディア開発研究所 高橋 伸幸・大塚 理恵・高安 礼士

9:58 ~ 研究発表② 北九州市科学館における講座等の教育普及活動の事例紹介
北九州市科学館 スペースLABO 吉川 雅大

10:11 ~ 研究発表③ 子供社会参画活動「キッズクルー」におけるサイエンスコミュニケーターの役割
福岡市科学館 林 千恵・西澤 息吹

10:24 ~ 研究発表④ 御船町恐竜博物館の継続的学習・探究活動支援への取り組み
御船町恐竜博物館 富澤 由規子・池上 直樹

10:37 ~ 研究発表⑤ ワークショップ参加者の視点から考える
「これからの博物館」についての一考察
結creation/大阪市立自然史博物館 北村 美香
高槻市立自然博物館 あくあびあ茶川 池田 裕介

10:50 ~ 11:00 《 質疑・まとめ 》
11:00 ~ 11:05 《 休憩 》

【第2ブロック：誰もが利用しやすい展示への取り組み】

11:05 ~ 研究発表⑥ 博物館のダイバーシティ&インクルージョンの充実化に向けて
～兵庫県立人と自然の博物館の事例～
兵庫県立人と自然の博物館 橋本 佳延・山田 量崇・藤井 俊夫・福本 優

11:18 ~ 研究発表⑦ ろう者コミュニティへ展示を届ける
～日本手話を取り入れた展示改修事例「ノーベルQ」～
日本科学未来館 佐野 広大・相川 直美
株式会社サンドプラス 今井 ミカ

11:31 ~ 研究発表⑧ 手に取って全方向から観察できる昆虫標本容器の開発と活用
姫路科学館 宮下 直也

11:44 ~ 研究発表⑨ ワタを育てて機械を動かそう
: SNSを通じて資料と繋がる博物館コミュニティ
東京農工大学科学博物館 齊藤 有里加・上田 裕尋・横山 岳・金子 敬一

11:57 ~ 12:07 《 質疑・まとめ 》

【ポスター発表】

- 12:07 ～ 12:25 《ポスターセッション インデックスプレゼンテーション》
- 12:25 ～ 13:40 《昼食・休憩》
- 13:40 ～ 14:40 《ポスターセッション コアタイム》
- 14:40 ～ 14:45 《休憩》

【第3ブロック：地域資源の活用】

- 14:45 研究発表⑩ 新しく発見された吾妻山の慰霊碑を活用した防災教育
磐梯山噴火記念館 佐藤 公
- 14:58 ～ 研究発表⑪ いつものサイピアじゃない…！
～淡水研といっしょに科学館を水族館に早変わり～
岡山県生涯学習センター 人と科学の未来館サイピア 岡 成美
- 15:11 ～ 研究発表⑫ Chiba Museumが展開した海洋教育推進プログラムを検証し、
海洋教育推進の新たな将来ビジョンについて提言する
千葉市科学館 新 和宏
- 15:24 ～ 研究発表⑬ 理工系館と自然史館の境界領域に関する事例調査
滋賀県立琵琶湖博物館 戸田 孝
- 15:37 ～ 15:47 《質疑・まとめ》
- 15:47 ～ 15:52 《休憩》

【第4ブロック：市民の参加による博物館活動】

- 15:52 ～ 研究発表⑭ とともに成長する
～多摩六都科学館のボランティア活動～
多摩六都科学館 原 朋子・安部 覚子
- 16:05 ～ 研究発表⑮ ボランティア活動を通じたコミュニティとのつながり
はまぎん こども宇宙科学館（横浜こども科学館） 菊地 有由美
- 16:18 ～ 研究発表⑯ 研究団体と歩む半世紀
～学芸員の活動の揺籃としてのコミュニティ～
横須賀市自然・人文博物館 内船 俊樹
- 16:31 ～ 16:41 《質疑・まとめ》

【閉会】

- 16:41 ～ 16:56 《全体総括》

ポスターセッション詳細

コアタイム時間：令和6年2月22日(木) 13:40～14:40

【会場】(滋賀県立琵琶湖博物館 1階セミナー室)

- 1 流域治水および水源の山から海への総合的な学習機会の創造
～茅渟の海と鴉の湖 なかをとりもつ淀川の流れ事業より～
〔きしわだ自然資料館 風間 美穂
結creation/大阪市立自然史博物館 北村 美香〕
- 2 千葉県立中央博物館生態園でのボランティア活動について
〔千葉県立中央博物館 坂田 歩美〕
- 3 地域コミュニティと共創する学習プログラムの実践
〔太地町立くじらの博物館 中江 環〕
- 4 博物館と地域が手をつなぎ“子どもの育ちを共に見守る”
〔高槻市立自然博物館 あくあびあ芥川 秀瀬 みのり〕
- 5 仙台市天文台の各種サポーター制度について
〔仙台市天文台 郷古 由規・仲 千春〕
- 6 生物多様性情報標準化会議(TDWG)および
国際自然史標本保存学会(SPNHC)の動向と日本の自然史コレクション情報
〔大阪市立自然史博物館 佐久間 大輔〕
- 7 小さい子どもたちに環境に関わる体験を届ける
「ふるさと兵庫こども環境体験推進事業」の「しぜん たいけん」について
〔兵庫県立人と自然の博物館 小館 誓治・八木 剛・大平 和弘
辰村 絢・河田 麻美・半田 久美子〕
- 8 総合知を目指すサイエンスコミュニケーション活動に関する共同研究
～東近江市との共創プログラムの実践～
〔トータルメディア開発研究所 大塚 理恵・高橋 伸幸・高安 礼士
国立科学博物館 有田 寛之・國府方 吾郎
東近江市 森の文化博物館整備課 西川 寛・博物館構想推進課 嶋田 直人
西堀榮三郎記念探検の殿堂 角川 咲江・小林 亜美〕
- 9 板橋ラーニングパーク構想
～科学館からコミュニティーセンターへ～
〔板橋区立教育科学館 池辺 靖・清水 輝大〕
- 10 ヒスイ以外はただの石？ 石を楽しむための取り組み「石のまち糸魚川展」
〔糸魚川フォッサマグナミュージアム 郡山 鈴夏・茨木 洋介
小河原 孝彦・香取 拓馬・竹之内 耕〕
- 11 名古屋市科学館のボランティア活動
〔名古屋市科学館 小塩 哲朗〕